

東北商工時報

毎月三回一日十日廿日發行
 編輯兼發行 高木良衛
 印刷所 東北商工時報社
 印刷所 昭和活版所
 廣告料 一行金五十錢
 一ヶ月郵税共一圓廿錢

ツサンイ
 所版活和昭 い安い速
 町南町平

常磐炭礦界切つての 成功者

小田吉治氏

石城郡好間村

氏は三十余年前故郷秋田を立つて此の常磐の地へ來りあらゆる勞働に従事し涙と汗とにまみれつゝ世の辛酸をなめた一個の勞働者であつた

然るに敏感なる頭腦の持主である氏は炭礦界の將來に期待を持ち血のにじむが如き幾何かの金を投じて中根炭礦を手に入れ勞資協調以つて自分自身勞働の第一線に立ち悪戰苦闘を續けつゝ次第に近在の炭礦を併せて今日の如き巨萬の富を得て炭礦界に押しも押されぬ小田吉次氏となつたのである

特の經營法により旭日昇天の勢を以つて斯界に雄飛するゝときその將來や洋々たるものある。舊古河一坑、隈田川炭礦、津川炭礦より一日四百噸の炭を産出せしむるも尙不足を生ずるとき

平町清潔衛生取締として
 責任感強き人格者

金成國雅氏
 次は町會議員か



その昔一個の無産階級者より身を起して此の大成を見た氏は何事に對しても鐵志猛意如何なる難關に遭遇するもそれを突破せんば止まざる精神の持主である

今や財界に事業界に活氣を呈しつゝあるとき自己の永き經驗より案出したる氏獨

りの家業たる清潔取締として今に人口三萬に成々とする平町のためより美しき町の出現に意をそしぎ

新時代にはあらゆる方面に新人の花々しき活躍を要望してやまぬとき金成國雅氏は先代より朝は星をいたたく頃より夕に月を踏みつゝ町家より掃出さるゝ塵芥運搬の取締に鋭意努力される篤實な士で

ある。氏は又區長として日夜汲々として區の爲めにその職責を果たしつゝあり區民に對しては常にあふる、如き愛嬌を以つて接し自己的感念を捨て如何なる依頼に對しても親切を旨とする

とる萬民一帯の如く厚志厚感なること區民は勿論町民の瞻高く之れ偏へに氏の徳の致す處である。氏は常に偉大なる志望を抱きその前途は洋々たる春の海の觀を呈しつゝあり後々たる氣骨を有する人格者にしてその信念の固き誠に得難き好紳士である。來るべき町會議員に選ばれるに當り、改選には區民町民の期待せる人物として氏の出馬を待望されその手腕力量を町治に發揮される日の一日も早きことを善はれる。

時代に動く人々

俺れは縣會議員だ！と肩で風を切り選舉當時のことなど忘れ成張り散す當世にみすばらしき旅館の一室に居をかまへ鶏鳴曉を報する

頃より人々のために東奔西走し持つて自分の本分となす縣議もある。此の寒空に向つて一枚の着がへすら持たず、長煙管にはぎをふかす耶麻郡選出某縣議の日常には實に我々として學ぶべき所がある。

永らく粉争を續けてきた石城郡小名濱町消防組頭問題も圓滿解決を見、只殘されたるは組頭辭職の時機の問題である。小濱組頭自身の立場より推して勇退して後進に道を披くは何人も想像してある處である。

然らば後任組頭は誰か？その下馬評にのぼる中心人物に立花雄七氏がある。氏は幾才か小名濱町消防小頭として町のため盡力され又漁業組合長としてはその辣腕を縦横に振るつてきた親分の義侠心に富む好人物である。氏にして町治上重要な組頭の職を得れば一般町民の期待に添ふことは言を待たず、一に氏の出馬を待たんと町民は鶴首して待つてゐると。

河沼郡坂下町の町議齋藤某氏は疲弊せる農村の不況打開策として今や全国的に稱導さるゝ自力更生を力説し自分自身その範となり又自費を投じてパンフレットを製作して一般に配布するなど實に胆をふる次第である

氏の農家十策に曰く
 一、農は農らしし其の職分を知れ
 二、収入を見て然る後に支出せよ
 三、外觀より實質主義に
 四、家長は生活戰の第一線に立て
 五、一家より一村へ一村より全部に協力せよ
 六、新副業を求むるより地方獨特の其れに精進せよ
 七、生産は量より質を
 八、十錢の金より時間の空費を慎め
 九、買ふものは村より賣るものは村へ
 十、百の指導より一の創造 以上

有ると聞くととき天下の物持共は何んと感ずる。

縣下に於ける會津桐の産地として有名な大沼郡西川村宮下に土木監督所が設置され只見川流域に沿ふ山間僻地の難工事に着手された所長渡邊昌綱氏は三春より轉任された温厚篤實なる好紳士にしてその手腕と職務に熱心なるところ當地方の人望を一身に集めてゐる

交通不便此の上もなき山國に於ける工事は非常なる困難を極めつゝあり積雪丈余に達する地方を冬期間に於ける工事の進行は望まれぬ有様である。爲めに降雪期をひかへた今日、着手せる工事の竣工をいそぎつゝ山道を馳驅して自ら指揮の任にあたり只身を賭して地方開拓に資する職責を果たすべく不眠不休の奮闘を續けられる氏に對して人々は感謝の意を表してゐる。

人情浮薄な世智辛き世に何んと云ふ心床かしき人かな耶麻郡喜多方町の酒造家某氏は現下の不況に際し貧困のごん底に喘ぐ人々のため私財を投じて施米をなすつ

開店披露
 製造
 いとう家具店
 製造家より直接皆様へ！
 ◆月賦販賣も御相談に應じます

亂れ及の影

(二) 良衛生

全く田甫路に出切つたとき
は夜はひし／＼と追つてあ
た、絶えず慎之助の視覚に
は亂熟し切つた美しいお節
の幻影が附きまどつてゐた
それで物憂き歩調は煩悶を
強めて行く。

幻影の凝視!

彼は恐れながら彼女の心を
たどらなければならなかつ
た、彼女の戀心、どうして
も近頃の素つ氣なさを思ふ
とき不安でならなかつた
彼女に對照者の出て三角關
係の跡に當然殘さるべき自
分を考へずには居られなかつた
そのときのみじめな
様を思ふとき、幼時自分に
付き添つて居た乳母のお光
が恨めしくもなつてきた
斯ふしたときの彼には、ど
んなに黒髪が欲しいことであつたらう。

出しさうな氣がした。と思
ふと屹度屋敷に残つて居る
お節が、今頃何をして居る
だらうと彼女の身の上心に
が戻つて行つた

「此んな良い機會があら
うか」

とつぶやくや慎之助は踵を
返した、今日こそはよくお
節の心を問ふてやらうと!
途中どう云つて彼女の心を
ださうかと考へた、萬一
女の心が移らうとしてゐた
ならば召使ひではあるが彼
女に頼つて迄も自分の心
に歸つてもらはうと淋しく
誓つた、だが、そんな推察
よりも彼女が病氣でもあ
つて自分に生氣の失せた顔
を見せるのを拒んだのかも
知れないと、余りに虫のよ
すぎる考へに自分を引きづ
らうともしてみた、そうし
て暫くの間、戀の焦燥と孤
獨の淋しさを味あわされた
自分を案外微笑で迎ひてく
れる!、此んな突如もなさ
そうな想像を無理に引きず
り出してお節のあでやかな
笑顔を思ひ浮かべたりした
やがて柴折戸から入つた慎
之助は直ぐにお節の室に廊
下を靜かに傳つて行つた
暫く遠ざけられた彼は初戀
當時の様々嬉しい心のどよ
めきを感じながら!(續く)

貴族員議員

金成通

縣會議員

鈴木英亮

縣會議員

石田俊夫

縣會議員

唐橋重政

耶麻郡熱鹽村

山口峻一

萬山紅となり山野錦衣を纏ふて
天地清澄の氣に満つ
沼尻中ノ澤温泉

内湯

朝日屋

内湯

西村屋

河沼郡坂下町

土木建築請負業

太田芳太郎

河沼郡坂下町

土木建築請負業

蓮沼新一

田村郡小野新町

高橋亀次郎

大沼郡永井鈴村

石田源伍

大沼郡西川村

渡部禎二

大沼郡西川村

山浦直井

大沼郡宮下郵便局長

酒井 匡

大沼郡西川村宮下

栗城龜三郎

大沼郡西川村宮下

渡邊昌綱

大沼郡西方村

山内政記

北會津郡門田村

田部兵庫

耶麻郡吾妻村

山田兵一

耶麻郡長瀬字川

桑原虎三郎

河沼郡坂下町

富岡醫院

河沼郡坂下町

酒造業
廣木三郎次

若松市榮町

材木商
玉川千代吉

北會津郡門田村

成田勝四郎

大沼郡西川村宮下

雜貨商
齊藤藤三郎

大山祇神社御參道

旅館
十一鹽屋

磐城セメント特約販賣店

金物問屋
釜屋商店

片倉磐城製糸株式會社

工場長
辰野賢造

事務長
中村吉郎

小田炭礦萩原鑛業部

萩原申八

平町鎌田

鈴木定吉

小名濱町

自動車業
馬目喜右衛門

耶麻郡喜多方町

實踐女學校

淺野セメント販賣店

太平生命保險代理店
土木建築請負業

江口伊六

東白川郡常豊村

相馬郡原町

掃部關廣惠

大沼郡西川村宮下

田中堂醫院

院長 酒井 求